

令和5年8月31日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第34週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

【問合せ先】
大阪府医師会・地域医療1課
TEL 06-6763-7012

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2023年 第34週（8月21日～8月27日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの動向に注意」

第34週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,703例であり、前週比24.8%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.69、2.47、1.66、0.73、0.64である。

感染性胃腸炎は前週比42%増の525例で、三島3.94、中河内3.21、大阪市南部3.00、北河内2.92、南河内2.81であった。

咽頭結膜熱は14%増の482例で、大阪市南部4.22、大阪市西部3.30、堺市・大阪市東部3.00である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は37%増の323例で、北河内3.36、堺市2.37、南河内2.06であった。

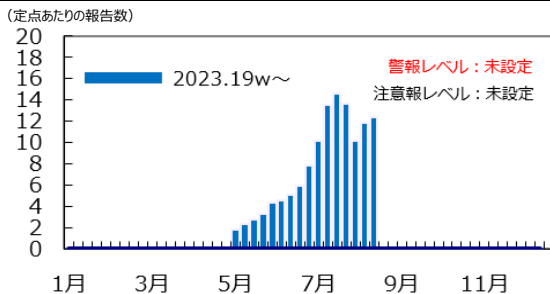
流行性角結膜炎は65%増の38例で、大阪市北部1.40、中河内1.20、南河内1.00である。

ヘルパンギーナは17%増の125例で、中河内1.53、大阪市北部1.21、北河内0.84であった。

インフルエンザは41%増の466例で、定点あたり報告数は1.54である。大阪市西部2.20、北河内2.02、大阪市北部1.75、南河内1.71、中河内1.63であった。前週から流行開始の目安の1を超えており、今後の動向に注意が必要である。

新型コロナウイルス感染症は5%増の3,744例で定点あたり報告数は12.40であった。堺市16.25、大阪市南部13.44、南河内13.13、泉州13.12、北河内13.1である。2週連続して、徐々に増加している。年齢別では、第1位は10-19歳で13%を占めている。60歳以上の割合は23%であった。

新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ

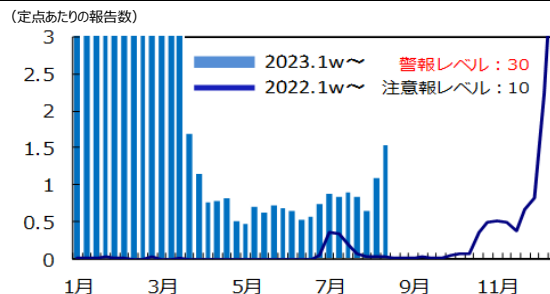


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第34週8月21日～8月27日）

第34週の順位	第33週の順位	感染症	2023年 第34週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2022年 第34週の 定点あたり 報告数	2023年第34週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	2	感染性胃腸炎	2.69	42%増	1.88	1歳_18%
2	1	咽頭結膜熱	2.47	14%増	0.12	1歳2歳3歳4歳_15%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.66	37%増	0.21	5歳_18%
4	6	流行性角結膜炎	0.73	65%増	0.27	20歳以上_74%
5	5	ヘルパンギーナ	0.64	17%増	0.42	1歳_31%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.54	41%増	0.03	20歳以上_32%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	12.40	5%増	-	10-19歳_13%

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第34週のコメント

～麻しん～ ワクチンで予防可能な感染症です。2023年33週時点で、国内の累積報告数は22例です。

全数把握感染症	
麻しん	
<p>麻しん（はしか）は麻しんウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発しん性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発しんが出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻しん発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻しん排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻しんが流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発しん等）があり、1）1か月以内に麻しん患者と接触していた場合、2）麻しん流行国（主にアジア及びアフリカ諸国）に最近の旅行歴がある場合、麻しんを疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻しん疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻しんはワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。</p> <p>麻しん(大阪府感染症情報センター) 麻疹とは(国立感染症研究所)</p>	

表2. 大阪府全数報告数（2023年 第34週8月21日～8月27日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊	三	北	中	南	堺	泉	大	府内 報告 数	府内 累積
			能	島	河	河	河	市	州	阪		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9		2				1		6		121
4類感染症	デング熱	1								1		6
5類感染症	アメーバ赤痢（腸管アメーバ症）	1		1								31
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6	1	1	1		1			2		96
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1						41
	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1		91
	梅毒	32	1		3	3	1		1	23		1,323
	百日咳	1				1						32
	麻しん	1			1							5
結核 (2023年7月分)	結核 新登録患者数：81名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 27名) (府内累積報告数 658名、内 肺・喀痰塗抹陽性 230名)											

(2023年8月29日 集計分)

感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2023年8月29日

(ブロック別)

(年齢別)

第34週 2023年8月21日～2023年8月27日

ブロック名 定点数 疾病名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部		
	小児科	23	16	25	19	16	19	21	14	10	14	18	195
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
基幹	2	2	2	2	2	2	1	4				17	
インフルエンザ	36	26	41	30	24	28	34	20	15	21	27	302	
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	3	2	18	11	14	10	8	13	4	4	3	90
	咽頭結膜熱	40	12	43	53	40	57	62	24	33	42	76	482
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	10	84	21	33	45	37	12	15	17	33	323
	感染性胃腸炎	61	63	73	61	45	53	49	35	19	12	54	525
	水痘	2	1	1	3	0	2	0	1	0	0	0	10
	手足口病	8	4	6	12	6	6	4	3	2	1	1	53
	伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	突発性発しん	8	1	8	8	7	2	5	2	1	3	3	48
	ヘルパンギーナ	8	8	21	29	7	12	9	17	7	2	5	125
	流行性耳下腺炎	0	0	1	2	1	1	0	1	2	0	0	8
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	流行性角結膜炎	4	0	4	6	4	3	4	7	0	4	2	38
合計	150	101	259	206	157	191	178	116	83	85	177	1703	
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0				0	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0				0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0				0	
イ定	インフルエンザ	43	40	83	49	41	39	44	35	33	27	32	466

年齢区分 疾病名	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
	R	28	16	21	16	2	2	1	0	1	0	0	2	0	1
咽	3	18	71	71	71	71	68	43	21	12	9	15	1	8	482
A	1	2	13	22	34	48	59	45	26	14	19	25	4	11	323
感	11	53	95	56	41	35	41	25	22	25	21	50	13	37	525
水	0	0	2	1	1	1	1	1	0	1	0	2	0	0	10
手	2	3	17	17	5	3	3	2	1	0	0	0	0	0	53
伝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突	1	11	27	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48
へ	1	18	39	16	18	10	5	6	2	1	3	5	0	1	125
流	0	0	1	0	1	0	1	1	3	0	0	0	1	0	8
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
流	0	2	0	2	1	1	3	0	0	1	0	0	0	28	38
合計	47	123	286	208	176	171	182	123	76	54	52	99	19	87	1703
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イ	1	7	22	21	20	20	30	23	26	23	13	57	55	148	466

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2023年8月29日

(ブロック別)

第34週 2023年8月21日～2023年8月27日

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位		
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部											
定点数	小児科	23	16	25	19	16	19	21	14	10	14	18	85	56	19	11	8	8	8	195		
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52		
	基幹	2	2	2	2	2	2	1	4				8	4	2	1	2	0	0	17		
	インフルエンザ	36	26	41	30	24	28	34	20	15	21	27	136	83	28	17	13	12	13	302		
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	▽ 3	△ 2	△ 18	△ 11	▽ 14	△ 10	▽ 8	▽ 13	▽ 4	△ 4	▽ 3	▼ 33	▽ 24	△ 10	△ 10	0	▽ 0	△ 9	90	5	
	咽頭結膜熱	40	△ 12	43	△ 53	△ 40	57	△ 62	24	△ 33	▲ 42	76	△ 136	▲ 175	57	40	▼ 2	36	▲ 3	482	2	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	▲ 10	84	△ 21	△ 33	△ 45	△ 37	12	△ 15	△ 17	33	△ 134	△ 77	△ 45	△ 15	▽ 3	△ 4	21	△ 323	3	
	感染性胃腸炎	△ 61	△ 63	△ 73	△ 61	45	△ 53	49	35	▲ 19	△ 12	▲ 54	△ 202	▲ 120	△ 53	27	27	△ 11	△ 29	△ 525	1	
	水痘	△ 2	1	▽ 1	△ 3	▽ 0	▽ 2	▽ 0	1	0	0	▽ 0	▽ 2	▽ 1	▽ 2	0	0	△ 1	▽ 1	▽ 10		
	手足口病	△ 8	▲ 4	▽ 6	▲ 12	△ 6	△ 6	△ 4	△ 3	▽ 2	▼ 1	▼ 1	△ 21	7	△ 6	▲ 7	△ 1	△ 1	▽ 0	△ 53		
	伝染性紅斑	0	0	▽ 0	▽ 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	▽ 0	
	突発性発しん	▲ 8	▽ 1	▲ 8	△ 8	△ 7	2	△ 5	▲ 2	▽ 1	△ 3	△ 3	△ 22	▲ 9	2	△ 4	▽ 0	▽ 2	▽ 2	△ 48		
	ヘルパンギーナ	▼ 8	▽ 8	21	△ 29	▽ 7	△ 12	9	△ 17	▽ 7	△ 2	▽ 5	29	△ 31	△ 12	▽ 4	▽ 4	▽ 4	△ 7	125	4	
	流行性耳下腺炎	▽ 0	0	▼ 1	▲ 2	▽ 1	△ 1	0	1	△ 2	0	0	▽ 1	△ 3	△ 1	△ 1	0	0	▽ 0	8		
	把握科 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	▽ 0	△ 1	0	0	0	▽ 0	△ 1	0	0	0	0	0	1	
流行性角結膜炎		△ 4	▼ 0	▲ 4	▽ 6	▽ 4	△ 3	▲ 4	▲ 7	0	△ 4	▲ 2	8	▲ 13	△ 3	▽ 3	0	△ 4	▽ 0	▲ 38		
合計		△ 150	△ 101	259	△ 206	157	△ 191	△ 178	116	△ 83	△ 85	177	△ 588	▲ 461	△ 191	△ 111	37	63	72	△ 1703		
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	▽ 0	0	0				0	0	▽ 0	0	0	0	0	0	▽ 0	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イ定	インフルエンザ	▲ 43	△ 40	▲ 83	▲ 49	41	▲ 39	▲ 44	▲ 35	△ 33	▲ 27	▲ 32	146	▲ 127	▲ 39	▲ 25	△ 20	▲ 14	▲ 33	▲ 466		

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2023年33週(08月14日～08月20日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ベスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	230
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	131
腸チフス	1
パラチフス	0
E型肝炎	4
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	0
エキノкокス症	0
エムボックス	1
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	1
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	3
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	1
デング熱	5
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	13
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ポツリヌス症	0
マラリア	1
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	34
レプトスピラ症	2
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	13
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	0
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	39
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	2
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ)	4
クリプトスポリジウム症	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	17
後天性免疫不全症候群	9
ジアルジア症	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	9
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	25
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限)	7
先天性風しん症候群	0
梅毒	168
播種性クリプトコックス症	2
破傷風	2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	14
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	4913	1.01
COVID-19	86756	17.84
R S ウイルス感染症	2492	0.81
咽頭結膜熱	1952	0.63
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2561	0.83
感染性胃腸炎	6579	2.13
水痘	289	0.09
手足口病	2239	0.73
伝染性紅斑	30	0.01
突発性発しん	603	0.20
ヘルパンギーナ	2873	0.93
流行性耳下腺炎	109	0.04
急性出血性結膜炎	4	0.01
流行性角結膜炎	325	0.47
細菌性髄膜炎	10	0.02
無菌性髄膜炎	20	0.04
マイコプラズマ肺炎	13	0.03
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-

定点数	
インフルエンザ/COVID-19	4862
小児科	3086
眼科	690
基幹病院	479

7月(月報)	報告数	定点当り
性感染症・基幹定点		
性器クラミジア感染症	2623	2.66
性器ヘルペスウイルス感染症	782	0.79
尖圭コンジローマ	581	0.59
淋菌感染症	789	0.80
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1246	2.61
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	107	0.22
薬剤耐性緑膿菌感染症	11	0.02
定点数		
STD	985	
基幹病院	478	

注意 記載データは速報性を重視しています

FAXによる配信から、より情報量の多いメール配信への切り替えをご希望される方は以下のメールアドレスまでご連絡ください
survey@iph.osaka.jp

2023年8月29日

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数

(ブロック別)

第34週 2023年8月21日～2023年8月27日

ブロック名	1 豊能	2 三島	3 北河内	4 中河内	5 南河内	6 堺市	7 泉州	8 大阪市 北部	9 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	36	26	41	30	24	28	34	20	15	21	27	302
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	433	317	537	233	315	455	446	242	152	251	363	3744
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	12.03	12.19	13.10	7.77	13.13	16.25	13.12	12.10	10.13	11.95	13.44	12.40
	過去5週間定点あたり報告数											
33週	12.06	9.19	15.90	7.20	18.63	13.71	10.79	13.10	9.60	8.05	10.15	11.88
32週	10.51	9.60	11.85	6.33	13.25	15.93	11.53	10.85	10.53	6.00	4.85	10.23
31週	12.83	11.00	14.02	10.97	16.35	19.07	14.47	14.00	10.00	11.36	14.59	13.69
30週	12.40	11.00	16.34	12.07	20.74	16.55	15.56	15.85	13.20	10.73	16.00	14.66
29週	12.77	11.58	14.20	10.97	17.04	16.10	15.06	14.40	12.53	10.14	13.44	13.56

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	148	384	332	495	365	367	365	410	263	303	312	3744
	4%	10%	9%	13%	10%	10%	10%	11%	7%	8%	8%	